

川崎幼稚園の現状と送迎バスに係る安全管理対策について

(健康福祉部こども未来局こども未来課)

1 川崎幼稚園再開の概要

項目	内容
再開の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・保育部については、10月3日から再開 ・幼稚部については、10月6日から再開
送迎バスの運行	当分の間休止(再開時期は未定)
再開に至った経緯	園は、「保護者からの多数の再開要望」と、「私立こども園であっても、保育においてパブリックな役割を担うこと」等から、安全対策を講じた上で、園を再開すべきとの判断に至ったと説明している。
児童数 職員数	<ul style="list-style-type: none"> ・在籍児童数 保育部 98名、幼稚部 56名 計 154名 ※うち 25名が転園希望。10月24日時点で、18名は転園または転園先決定済。残りの園児は調整中。 ・職員数(教育・保育従事者数) 16名

2 送迎バスに係る安全管理対策

(1) 送迎バスに係る安全管理調査・指導

ア 書面調査

国の通知で示す安全管理事項に基づき、県内の送迎バスを運行している保育施設等に対して調査を実施した(参考資料1)。

項目	内容
対象施設	認定こども園、保育所、幼稚園、特別支援学校小・中等部 232施設
調査期間	令和4年9月9日(金)～9月20日(火)
調査結果	<ul style="list-style-type: none"> ・運行台数：552台 ・バスの運転手 派遣：44.6%、常勤職員：27.8%、非常勤職員：26.9% ・乗務員の配置なし：3台 ・安全管理におけるダブルチェック体制：96.6% ・園児数の確認方法 名簿・座席表・アプリ：73.7%、目視のみ：25.9% ・降車後のバス点検 運転手と補助員：82.3%、行っていない：0% ・令和3年7月の福岡県の事件以降、学校安全計画や危機管理マニュアルを改正した施設は、約8割 ・ヒヤリハット事案：43件の報告のうち、乗務員による取り残し後、運転手が発見したケース3件

イ 立入り指導

書面調査結果及び国調査結果を基に、保育施設等に対して、現場への立入り指導を実施している。

項目	内容
対象施設	書面調査を実施した全施設(政令市と庁内関係部署で分担し実施)
実施期間	令和4年9月27日(火)～11月中旬予定
確認・指導方法	<ul style="list-style-type: none"> 園児数の確認や車内の点検方法、マニュアルの整備状況等、具体的な安全管理手順や運用実態を、現地で確認 関係者に対して、必要に応じて再発防止に向けた安全管理を指導
指導状況	指導状況については、とりまとめ後公表予定(11月中)

ウ 安全管理講習

令和4年9月26日、施設の管理者等への啓発として、県、県教育委員会、私立幼稚園振興協会並びに、保育連合会の共催により、常葉大学教育学部生涯学習学科教授 木宮敬信氏による安全管理講習会をYouTubeにて開催した(10月24日時点での視聴回数は4,706回)。

(2) 今後の対応

分野	事業	内容	実施時期	
			R4	R5
検証	牧之原市事後検証委員会	市への支援		特別指導監査後
再発防止	安全管理指針	<ul style="list-style-type: none"> こどものバス送迎に係る安全管理指針(ガイドライン)を策定 送迎マニュアル作成の促進 	10月 ~1月	
	安全管理装置の設置義務化	(国事業) 送迎バスへの安全装置の装備		12月~6月
情報発信	ヒヤリハット事例の共有	各保育施設等での、危機管理意識を高く保つため、ヒヤリハット事例の報告と県内施設への情報共有の仕組みの構築		1月~
	施設間の情報共有	施設の安全管理者である施設長を対象とする講習会 *保育連合会、私立幼稚園振興協会と連携	9月	1月~

3 [参考] 事故後の主な国の動向

日 程	内 容
9 月 29 日 (木)	第 3 回関係府省会議 「緊急対策とりまとめに当たっての基本方針」 (こども政策担当大臣指示)
10 月 4 日 (火)	第 1 回幼児送迎バス安全対策ワーキンググループ開催 (国交省)
10 月 12 日 (水)	第 4 回関係府省会議 バス送迎に当たっての安全管理の徹底に関する緊急対策 「こどものバス送迎・安全徹底プラン」のとりまとめ (こども政策担当大臣指示)